

令和8年度福島県専任教員養成講習会 教育内容

区分	内容	科目	目標・内容	単位数	時間数	備考
基礎分野	教育の基盤	教育原理	教育の本質の基本知識、概念及び必要な理論を学ぶ。 ・教育の本質、目的 ・教育活動の特性 等	1	15	
		教育方法	教育方法の基本知識及び必要な理論を学ぶ。 ・授業形態、教育方法及び教材の活用 ・授業—学習過程の理解 等	1	15	
		教育心理	人間の発達と学習過程における心理的な特徴についての基本知識及び必要な理論を学ぶ。 ・成長発達に伴う学習者心理の理解 ・学習過程における心理 等	1	15	
		教育評価	教育評価の基本知識及び必要な理論を学ぶ。 ・教育評価の目的と方法 ・講義・演習・実習評価の方法 等	1	15	
		情報通信技術	情報リテラシーの向上のため、情報社会に対応する基礎的知識及び看護師等養成所の組織運営に係る情報通信技術を学ぶ。 ・ICTの特徴及び看護教育への活用方法 ・情報セキュリティ対策を含む情報マネジメントの基本 等	1	15	
		実践で活かすロジカルシンキング	看護教育の場面にある情報を吟味し、事実と解釈を区別して整理できる。 整理した内容を、読み手・聞き手に伝わる形で書き、話して表現できる。 事例演習を通して、思考・表現・判断を往復しながら論理的に検討できる。 ・論理的思考とは ・事実の読み方 ・看護教育における場面実践 等	1	15	
専門分野	看護論	看護論	人間の健康、看護の考え方を多角的に学び、看護についての視野を広げ、自己の看護観を明確にする。 ・看護の機能と役割 ・看護場面と看護観の再構成 ・健康の概念と健康支援	1	15	

		・倫理的課題とその対応方法 等			
看護論 看護教育論	看護論演習	看護のあらゆる場で生じうる課題を明確にし、看護観を教授活動に反映する手法を学ぶ。看護実践を振り返り、看護の知の言語化及び倫理的課題の明確化を図る。 等	1	30	
	看護教育・制度論	看護教育制度の変遷と現在の教育制度を理解し、これからの看護教育のあり方について考える。 ・職業倫理と看護教育の責務 ・教育観の形成 ・看護教育と看護基礎教育の関係 ・看護教育制度の変遷と将来の展望 ・現行の教育制度の特徴 等	2	30	
看護教育課程	看護教育課程論	看護教育課程編成の基本的な考え方を学び、看護学全体の構造を理解し、看護教育課程編成の実際を学ぶ。 ・教育課程の基礎的知識 ・教育課程の実際 ・教育目的・教育目標の設定 ・教育内容の組織化 ・領域横断の考え方 等	3	45	
看護教育課程 看護教育方法	看護教育課程演習	看護教育課程編成のプロセスを学び、看護教育のあり方を理解する。 ・看護教育課程の編成の実際 ・看護教育課程の課題 等	2	60	
	看護教育方法論	指導案作成について学び、これを活用して講義、演習、実習における展開方法を学ぶ。 ・教材の精選と教材研究 ・指導案（講義・演習・実習）の作成方法 ・教育への研究成果の活用（EBE）等 ・研究方法・文献検索とクリティーク ・得られた知見の教授活動への活用 等	6	90	
看護教育方法 看護教育演習	看護教育方法演習	指導案を作成し模擬講義・演習・実習を行い、その結果を考慮し看護教育方法を身につける。 ・学生の理解を促進する講義・演習・実習設計の方法 ・実習指導の実際と展開 等	3	90	

	専門領域別 看護論演習	各専門領域別看護の教育内容、教育方法について学ぶ。(選択制) ・各専門領域の専門性の明確化 ・専門性を加味した教育内容及び方法の明確化等	2	60	
看護教育評価	看護教育評価論	看護教育内容の評価方法を理解し、その適用方法について学ぶ。 ・看護教育における講義・演習・実習評価の考え方 ・評価の目的と評価方法 等	2	30	
看護教育評価	看護教育評価演習	実践した看護教育を評価し、看護教育評価の理解を深める。 ・講義・演習・実習の評価基準及び評価手順の作成方法 等	1	30	
看護学校組織運営	看護学校組織運営論	看護師養成所の組織運営の特性と管理のあり方を学ぶ。 ・看護師養成所の組織運営の基本 ・看護師養成所の運営に関する指導ガイドラインの理解 等	1	15	
看護教育実習	看護教育実習	看護教育の理論と技術を実際に適用し、教員としての基本姿勢や教育方法等を学ぶ。 ・指導計画(講義・演習・実習指導)の実践と課題解決 ・学生の理解と教員役割の考察と実践 ・カリキュラムの理解と自己の課題の明確化等	2	90	
合計			32	675	

※その他 開講式、閉講式等行事があります。